

図書館制度・経営論

科目ナンバリング LIH-205
図書 選択 2単位

中嶋 康

1. 授業の概要(ねらい)

図書館に関する法律、関連する領域の法律、図書館政策について解説するとともに、図書館経営の考え方、職員や施設等の経営資源、サービス計画、予算の確保、調査と評価、管理形態等について解説する。

2. 授業の到達目標

- 1) 図書館設置の基盤となる日本国憲法はじめ図書館法、その他各種の法規の意義と内容を理解する。
- 2) 図書館の組織と職員の使命を理解する。
- 3) 図書館を運営する財政と予算編成、マーケティングの実際を修得する。
- 4) 図書館の経営評価について理解する。
- 5) 過疎指定地域にある図書館のサービス計画立案を通し、図書館員に必要な経営的視点と計画立案のためのノウハウを学ぶ。

3. 成績評価の方法および基準

出席態度と授業内の積極的発言(30%)、小レポートまたは課題(30%)、最終レポート(40%)により総合的に評価する。

いかなる理由でも授業回数(15回)のうち5回以上の欠席、および、指定期日までにレポートの未提出者は最終評価の対象から除外する。

4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定しない。必読の参考文献、URLはその都度指示する。

参考文献

糸賀雅児, 葉袋秀樹編 『図書館制度・経営論』2013(現代図書館情報学シリーズ 2) 樹村房

5. 準備学修の内容

毎週授業の事前準備または復習のための課題を出すので、計画的に取り組み、期限を守り提出すること。「図書館雑誌」,「大学図書館研究」,新聞,Googleニュース等で、図書館の動向を常にチェックしておくこと。

6. その他履修上の注意事項

- 1) 第1回目の授業、イントロダクションは、授業の進め方、成績評価方法などについて説明するので必ず出席すること
- 2) 指定する文献やウェブサイトは授業前に必ず読むこと
- 3) この科目への履修登録は、インターネットの活用ができること、WORDで文書作成ができること、PCメールでファイルを添付して送信することができることを、最低条件とする。
- 4) 適宜グループディスカッションを行うので積極的に参加すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション-図書館における制度と経営
授業の目的、進め方、評価法など
- 【第2回】 図書館政策の基礎となる法制度の仕組み
法制度の全体像、図書館法と前提となる法規-日本国憲法,教育基本法,社会教育法 等
- 【第3回】 図書館経営のための関連法規と館種別法規
地方自治法,活字文化振興等関連法規,著作権法等,学校図書館法,国立国会図書館法 等
- 【第4回】 国と地方の図書館政策
国の図書館政策の決定プロセス,審議会と答申,地方公共団体の計画と予算 等
- 【第5回】 地方自治体の図書館政策決定と経営
公共図書館政策の決定プロセス,公共図書館の経営計画 等
- 【第6回】 図書館サービス計画(1)図書館サービスの使命と目標①
経営計画画と図書館サービス計画,図書館サービスの使命と目標,ステークホルダーの明確化 等
図書館サービス計画書の作成(1)計画書の構成,図書館の理念
- 【第7回】 図書館サービス計画(2)図書館サービスの使命と目標②
予算と予算管理,図書館職員の配置と専門性,施設・設備の運用 等
図書館サービス計画書の作成(2)図書館の現状と環境の把握①
- 【第8回】 図書館の経営計画(3)経営形態の多様化と図書館サービスの変化
業務委託,指定管理者制度,PFI 等
図書館サービス計画書の作成(3)図書館の現状と環境の把握②
- 【第9回】 図書館の経営計画(4)マーケティングとサービス計画
社会状況の変化に対応したサービス計画の立案
図書館サービス計画書の作成(4)目標の設定
- 【第10回】 図書館の経営計画(5)ヒト・モノ・カネの計画
マーケティング戦略の策定と新事業計画
図書館サービス計画書の作成(5)実行
- 【第11回】 図書館の経営計画(6)マーケティングとブランド戦略
ブランディングとイメージ統合
図書館サービス計画書の作成(6)広報計画の位置づけ
- 【第12回】 図書館の経営計画(7)ブランド戦略と広報計画
経営評価の方法,経営評価とサービス評価
図書館サービス計画書の作成(7)経営評価とPDCAサイクル
- 【第13回】 図書館の経営計画(8)
図書館サービス計画書の作成(8)ラフの完成
- 【第14回】 図書館の経営計画(9)評価と経営計画への反映
図書館サービス計画書の作成(9)最終チェックとリハーサル
- 【第15回】 まとめ これからの図書館制度と経営形態

